

## ★「生涯現役社会実現セミナー」

健康で意欲と能力がある限り働き続けることができる雇用制度の実現に向けて先進的に取り組んでいるモデル企業(千葉ビル代行株式会社)の具体的な取り組み内容をご紹介します、企業における高齢者雇用の課題解決のヒントを提供するセミナーを開催します。(無料です)

## プログラム

- 1.基調講演:「生涯現役社会実現事業について」  
山口 裕司 氏 (千葉労働局 職業安定部  
職業対策課 高齢者対策担当官)
- 2.事例紹介:「生涯現役社会実現モデル企業の取り組みについて」徳永 康子 特定社会保険労務士  
(社会保険労務士法人 ハーモニー 代表社員)

日時 2月25日(水)14時～16時 千葉県経営者会館  
お申込みは下記からどうぞ

<http://www.sr-harmony.jp/pdf/20150225seminar.pdf>

## ★「国税・年金保険料 カード納付可能に」

政府は国税や年金保険料の納付を2017年からクレジットカードを使ってネット上でまとめて手続きできるようにする。この手続きができるのは自営業者や農家が対象で、税務署や金融機関に向かう手間を省き利便性を良くすることによって税・年金の納付率を高める狙い。

16年に政府が導入する社会保障と税の共通番号(マイナンバー)制度とも連携させ、自分のマイナンバー関連の情報をネットで閲覧できる政府サイト「マイ・ポータル」に決済機能を付ける。自営業者はネットで買い物をする感覚で、家庭のパソコンやスマホを使い、税や年金保険料をまとめて納められる。

従来もカードを使った年金保険料の定期的な引き落としなどはできたが、複数の税や保険料も一括で納付できるようになる。

自営業者や農家は全国に約1,800万人いるが、国民年金の納付率は65%に留まっており、パソコンやスマホで気楽に納付できる環境が整えば納付率も高まるとみている。

## ★「東京の木こり」

東京都は大都会だが面積の4割は森林が占めている。奥多摩の檜原村で、出版社で働いていた若者が設立した新しい林業会社が注目を集めている。

現在の林業では、雨天の日は働けないため給与が下がる仕組み、おおよっぱな費用管理、補助金への依存体質などがあり林業を活性化するには壁が厚い。

そこで、新しく仲間4人と「東京チェーンソー」を設立、山林での木の伐採や間伐、林道整備を山の所有者や森林組合から任されている。

働く人が生活設計ができるように月給制とし、社会保険を完備した。また、間伐の面積やチェーンソーで使った燃料の量を記録し、各現場ごとに採算を把握したことにより、現在社員は15人に増え平均年齢35歳と若い。

※山々の木々や自然に囲まれると癒されますが、近年益々森林の荒廃が目立ち将来を憂っていました。このような若い人達の新しい動きが嬉しいです。

## ★「求む「ホワイト企業」」

厚生労働省は13年度より「若者応援企業」の認定事業を始めている。離職者数や有給休暇取得状況の開示など一定の要件を満たした中小企業に国がお墨付きを与える仕組み。

「ホワイト企業」の看板で若者を採用しようと認定を得た事業所は7,000を超えた。中小企業でもホワイト企業にならないと生き残れなくなった?

